

# 消防団だより

第 12 号

発 行  
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地  
電話 (0545) 55-2851  
(0545) 55-2852  
FAX (0545) 53-4633

## “自分たちの街は自分たちで守る”



消防団長からの訓示

平成十三年度は、平成十年四月一日以降入団者で訓練未受講の四十八人のうち、三十人が受講しました。

- ・責任と心構え
- ・消防団の概要・活動・処遇
- ・各個訓練
- ・部隊訓練
- ・ポンプ車及び小型ポンプ操法

毎年新入団員の決意と自覚を高めるため教育訓練を同市田島の公設地方卸売市場駐車場及び会議室を借用し、

# 決意と自覚



各個訓練

### 新入団員教育

第二十分団 団員

影山偵祐

五月十三日、本年度の新入団員教育が公設市場で行われました。当然の事ながら私を含め集まっている人達は、初めての研修なので、どのような事をやるのか不安を抱え、始業を待ちました。

午前中は室内講習です。消防の歴史から現在の消防のありかた等、特に難しいものではないのですが、椅子に座って話を聞くというのは学生の時以来で、かなりしんどいものでした。

昼食を挟み午後からは屋外実習です。歩行訓練は五月とはいえ、夏のような日差しの中で汗だくになり、また日頃の運動不足を痛感しました。しかし、我々だけではなく、訓練を指導している指導員の方々及び同時刻に分団長訓練も行われており、つらいのは我々だけではなく他の人達も大変なのがよく分かりました。

続いて消防車の説明及びホース、カンソウの扱い方です。実際にホース、カンソウを手にする訓練とはいえ消防団員の一人として責任を感じました。

火災というのは些細な不注意からおきるものや不審火まで様々な原因があるわけですが、とにかく火災を出さないということが大事だと思います。不運にも火災がおきてしまった時は、常設の消防署があるわけですが、地域の消防団として自分達の住んでいる地域くらいはなんとか守らなければと思います。その為にも今日の研修だけではとても足りないでしょうが、先輩団員の方々に色々教わりながら少しでも役立つことが出来るように、日々努力していかなければと思います。

### 新入団員教育に参加して

第十一分団 団員

持田達也

今年の五月十三日、新入団員教育が公設市場で行われました。四月に入団したばかりの私も参加する事になりました。どのような内容の訓練を受けるのか、期待と不安で前日はなかなか寝つく事が出来ませんでした。

私は、今まで消防団とはまったくの無縁で、私の中での消防団のイメージは、酒をよく飲む、また、入ると酒が強くなる。ただ、それだけでした。火災の現場等にも、野次馬で見に行く程度で、消火活動をしている消防団員に目もくれず、ただただ燃えている現場を面白半分に見ているだけでした。皆さんの仲間に入れたら、消火活動に少しでも参加したいと思いませんか？

消防団長の挨拶と訓示で幕をあげ屋内の講義では、副団長より、消防団の成り立ち、団員としての心得・責任等、大切な話を聞かせて頂きました。規律訓練では、規律の厳しさも知りましたが、皆が一緒の動きをする事によって生まれる動の美しさを知ることが出来ました。このような訓練が、実際の現場で、素早く無駄のない消火活動に必要なと言う事も実感しました。その後小型ポンプポンプ車操法では、ホースの伸ばし方・巻き方・担ぎ方等消防活動で実際に使う道具を用いての訓練でした大変疲れましたが、普段触れることのない物に触れ、私達新入団員が踏み入れた消防団と言う道は、いかに大変でいかに貴重なものなのかを、再認識する事が出来ました。

まず、今まで持っていた消防団のイメージを壊し、全ての活動において、奉仕の心を忘れずに、分団の先輩方との和を大切に、これから一生懸命頑張りたいと思います。最後に、大切な休日返上し、私達のために時間を費やしてくれた、団本部の皆様、指導員のみなさま、本当に有難うございました。

### 訓練大会(礼式の部)について

第十八分団  
団員 斉藤 匠

今年、私に分団長から訓練大会(礼式の部)の要員を命じられた。私は、快く返事をした。四月より五月の大会に向け練習が始まった。初め何も分からない私は、第五方面隊の皆さんに迷惑を掛けてばかりで、指導員によく注意を受け本当にやるせない毎日だった。

しかし、練習初日から一日も休む事無く練習に取り組みいつしか注意される事も無くまとまり、大会前日には優勝候補になる程の方面隊に成長していた。でも、この裏には私を練習に行かせてくれた理解ある会社のおかげでもあります。皆の力があって第五方面隊は上達したと思います。

### 平成十三年度 富士市消防団訓練大会

平成十三年五月二十日(日)  
富士市公設地方卸売市場  
駐車場

\* 成 績 \*

#### 【訓練礼式】

優勝 第三方面隊  
準優勝 第六方面隊

#### 【小型ポンプ操法】

優勝 第一方面隊  
準優勝 第五方面隊

#### 【ポンプ車操法】

優勝 第六方面隊  
準優勝 第五方面隊



訓練大会「礼式の部」

### 大型ポンプ車操法

第一分団  
団員 仁木輝紀

訓練大会の結果は、二位入賞も出来なかったが、私は今日に至るまでの訓練に充実感があり自分自身に成長があったので後悔はありません。私は、消防団に入団して二年目ですが、色々な人との出会いがあり、訓練を通して規則を学び、自分の私生活にメリハリが付き、消防団に入団して良かったと思います。今後地域のために、消防団活動(ボランティア活動)を続けていきたいと思えます。

分団で訓練大会の会合の折り、私が規律の選手に選ばれました。そして、一ヶ月間規律の練習をしてきましたが、突然大型ポンプ車操法の二番員が怪我をしてしまったので、その代わりに私が引き受ける事になりました。他の選手より、一ヶ月も遅れを取っていたので毎晩個人練習に励みました。諸先輩方に指導されながら一生懸命頑張りました。大会では、惜しくも入賞は出来ませんでしたが、三ヶ月間の訓練はとても良い経験になったと思います。今後選手に選ばれた時には、優勝を目指して頑張りたいと思います。指導してくれた指導員の方々、又諸先輩の方々本当に有難うございました。



訓練大会「ポンプ車操法の部」

### 訓練大会小型の部

第十五分団  
部長 中林 健

平成十二年十一月下旬の全体会議で十三年度の訓練大会に第四方面隊の代表として小型ポンプ操法に出場する選手と指揮者を選出しました。私が指揮者として大任を任せられ、自分自身に一生懸命やるしかないと言いつけました。

四月より本格的な訓練を、公設市場にて五月二十日の大会当日までの二ヶ月間行いました。練習中、小型ポンプ操法について指導員より様々な指導を受けました。自分の頭の中が何回もパニックになった事を今になってとても懐かしく思っています。

どの代表チームの人達も、仕事を終えてから公設市場に集合し、自分の身体にむちを打って訓練に集中するその姿を思う時、自分も負けてはいられないとの思いで大会当日まで頑張ってきました。自分の成すべき事は、悔いの無いように自分自身に勝つのだとの覚悟で練習に励みました。水出し操法であるがゆえに少しの油断で思わぬ事故に成りかねませんので、指揮者としては緊張の連続で操法訓練に励みました。

そして、大会当日自分達の出番がやって来た時、緊張と不安が頭の中をぐるぐるめぐり、練習してきた事をやればいいんだとの思いで号令をかけ、自分も選手も自然に身体が動いて操法を懸命にやっていた事を思い出します。

最後に今回の訓練大会に指揮者として出場させて頂き感謝しております。

### 訓練大会 「小型ポンプ操法の部」

す。これからも微力な自分ではありますが消防団活動に少しでも貢献して行きたいと思っております。



### 平成十三年度 富士市支部査閲大会

平成十三年七月一日  
芝川町営総合運動場

\* 成 績 \*

#### 【訓練礼式】

優勝 富士宮市

#### 【小型ポンプ操法】

優勝 富士宮市

#### 【ポンプ車操法】

優勝 富士市

### 新分団長の抱負と 三分団の紹介

第三分団  
分団長 松井本和

我らの第三分団は上中詰所、日吉町詰所の二ヶ所あり、二車両を所有しており、北は大淵、西は鷹岡、南は富士、東は吉原地区と火災の出動が多く、私も丸武農機商會を自営している関係で火災に出動する事が多く、農業を営む人達が多かったので昭和五十二年に農業の先輩に勧誘され、入団いたしました。当時は農業と自営の人が多く、火災が発生すると消防車に乗れない位の人が集まったものでした。入団して、すぐ規律訓練、ポンプ操法と大変で、五、六年消防をやったら、辞めようと思っていました。しかし、入団してから色々の人達と出会い、一年に一回の旅りや夜警、出初式、訓練大会、消防まつりなど他の分団の人達とも知り合い消防に染まって行きました。班長になるとある程度の責任も出てきて平成三年に部長になり、庶務係になると先輩達役員の大変さが分かって来ました。平成十二年副分団長になり、今年分団長の大役をおおせつかり、三分団の頭として、私にできるかと、一生懸命です。昔と違って、団員も会社勤めの人が多くなり、昼の火災などに出動する人が少ないのです。今年連合町内会に御願いで消防団員の勧誘を三分団全員で行いました。お蔭様で若い団員も二名入団しまして、一層明るくなり、活気も出てきました。我が三分団は、一年に二、三回の消防車の水の出し方、毎月の詰所の清掃、草取り、床のワッ

クス掛けなども行っております。三分団は家族の事も大事にしています。奥様の誕生日には花とかワインのプレゼントをしています。時には奥様だけの御食事や家族全員の食事会なども行いました。

これからは家族にも消防活動を理解して頂き、愛される三分団にして行きたいと思えます。それから消防団員の居ない町内会への勧誘を毎年行っていくと思えます。



第3分団員の慰安旅行

### 新分団長抱負

第二十一分団  
分団長 鈴木克己

私は昭和五十六年に消防団員として、入団して早くも二十有余年の年月が経ちました。その間に先輩のご指導のもと規律、ポンプ訓練に要員として励み、又、幾多の火災現場にも出場致しましたが、その度に生命ばかりか家族が築き上げた思い出の品々、財産全てを失う火災の恐ろしさをも身をもって痛感し、又この度分団長の職を拝命するにあたって温かく家族のもとで消防活動に勤しむ事ができます。

団員の身の安全を確保しなければならぬ立場の最高責任者を命じられ、まさに身の引き締まる思いです。地域住民、団員、又団員のご家族の財産と生命を守る為により一層の努力を精進していくつもりです。

最後になりますが、我第二十一分団も他分団同様、団員数が不足しており、新入団員を募集して、各地区の区長さんとの連絡を密に行動しておりますが、なかなか思うようにはなりません。必ずくると予想される東海大地震の際には、自主防災組織も堅固にしなければならず、阪神淡路大震災の際には被災者は、消防団員の方々の底力が被害縮小の礎になったと聞いております。私どもが生活する県東部には神奈川西部断層も近くにあり、阪神大震災の数倍の被害が予想されます。有事の際には、屈強な消防団員が必要となります。地域選出の若者を消防団で育成し、地

域に恩返しをして自主防災のリーダーシップを取ってもらいたいと思えます。その為には今こそ活力あふれる消防団員を求めたいのです。



### 平成十三年度 静岡県消防団員消防操法 並びに訓練礼式査閲大会

平成十三年八月十八日(土)  
静岡県草薙総合運動場

\* 成績 \*

#### 【訓練礼式】

- 優勝 小笠支部
- 準優勝 榛原支部
- 第三位 静岡支部

#### 【小型ポンプ操法】

- 優勝 小笠支部
- 準優勝 磐岡支部
- 第三位 田方支部

#### 【ポンプ車操法】

- 優勝 駿東支部
- 準優勝 小笠支部
- 第三位 磐岡支部

### 指導員になつて

第八分団  
部長 仁藤明良

訓練大会に出るからには、優勝しかなないと選手の時には、誰もが思うのが当たり前です。しかし指導員になるとなかなかその様な訳には行きません。三ヶ月近く訓練を、共に過ごす総ての選手に、優勝の感激を味わってもらいたいと思いました。

訓練日には、仕事の都合を駆け汗を流し一生懸命頑張ってくれました。私も人に指導するなど、とても出来ないと思いましたが、規律の大切さ礼に始まり礼に終わると言うこと、日々勉強のつもりで、皆さんと過ごしてきました。

次回選手として、出場する方も、優勝目指して頑張ってください。



訓練大会審査中・・・

第4分団

総合防災訓練に参加して

班長 植松敏久

毎年恒例の防災訓練が今年も各地区で熱心に行われました。我々の担当であります今泉地区では、吉原第二中学校のグラウンドで、市・自主防災会を中心に小・中学校、地元分団等が参加して、会場型訓練としてたくさんの種類の訓練を実施しました。

判定会に始まり、情報の受理及び伝達訓練、避難(児童引き渡し)、応急救護、炊き出し、避難状況の情報伝達等の各訓練が、正確に迅速に行われました。また、判定会後一日経過を想定しての地震発生です。これから我々、消防団の本領発揮の訓練です。

今回は、水幕ホースを使つての避難路確保の訓練、中学生の協力を得てバケツリレーでの消火訓練、各町内会の自主防災会の可搬式小型ポンプでの消火訓練の指導等、我々消防団員が訓練大会に向けて日頃、規律や大型・小型ポンプ操作の訓練で得た知識や技術・心構え等を伝えることが出来たと思います。

東海地震が予想されるようになって二十五年、さいわいなことにこの地域では地震等による大きな被害は受けておりませんが、一九九五年度の阪神・淡路大震災では、多数の犠牲者や建物の崩壊等、大きな被害を受けました。

毎年いろいろな災害を想定し、さまざまな訓練を実施しております。しかし、阪神・淡路大震災の経験

を教訓として、単なる体験的な訓練ではなく、より実践的な現実的な訓練をすることが大切かと思えます。

また、地域住民の高齢化の進展などを背景に、若年層(中・高校生)を地域防災の「即戦力」として育成することも必要ではないかと思えます。

消防団活動は、ボランティアであります。各人が、人のため世の中のために自分の力を寄与することです。いざ地震だ災害だという時には、まず自分の命を守り、つぎに地域住民の命も守り、いかに被害を最小限に食い止めるかということです。また、今後も予想される東海地震については、永久に予想が外れることを祈り、消防団員として地域の住民として毎年、積極的に防災訓練に参加して行きたいと思えます。

第12分団

林野火災 消火訓練

団員 岩間章二

ウーウーとサイレンが鳴る。全神を経を集中させてハンドルを握り、小雨の中アクセルを踏む。十一月九日、富士市林野火災消火訓練の日。子どもの中の曲がりくねった狭い道を慎重に、しかし、急いで指定された場所へ車を運転する。私は四番員、車の運転とポンプ操作が仕事だ。一年前にも林野火災消火訓練を行なったけれど今回は、規模が格段大きくなり富士市内消防署・消防団をはじめ、富士本や内山の林野消防隊・富士宮市・裾野市の消防署。そして、県の防災ヘリまで出動しての大掛かりな消火訓練となりました。

第23分団

火災期特別警戒について

班長 菊地正博

火災期特別警戒は、消防団活動に於ける年間行事の中でも最も長期にわたる活動である。我が分団では、三人一組でこの活動を行っている。部長以上一名と班長一名及び団員一名で構成され、班長の私は四日に一度の頻度である。かなりハードノ

私は、仕事帰りに直接行く以外は、徒歩で詰所に行く。天気の良い日は、澄み切った空は満点の星。詰所に向かう頃には、東の空にオリオン座が顔をのぞかし、時の経過と共にその位置を変える星空……私のお気に入りのひとコマ……!!

今年の火災期特別警戒中は、本来の任務の他に新入団員の勧誘に力を入れていこうと分団長以下、その下準備に追われていた。

毎年、年末に団員家族と共に餅つきも、この時期の風物詩となりつつある。

この活動の頃になるといつも思い出すことがある。私が小学生の頃、母親と一緒にカチカチと拍子木を打ちながら「マッチ一本、火事の元」「火の用心ノ」などと唱えて、町内を廻った事を。これは、当番制になっており、ひと冬に二、三度廻ったと記憶している。しかし、この活動を小学生の高学年まで行った記憶が無く、青年団などへ活動を依頼したのだからと推測する。毎年地域から頂く賛助金のルーツがこの依頼から始まったと言う事を消防団に入団してから知った。皆さん知っていますか?



車庫前にて 「点検報告」

私が入団してから一度だけ、この警戒中に火災があり、私の家から二十メートルくらい離れた家でした。その時は、一一九番通報すると共に詰所にも連絡し、消火活動にあたりました。現場は詰所からも近い場所でしたので、一番最初に現場到着したのですが、その時の水利ボジションが実に見事でした。後から駆けつける部隊も円滑な消火活動が行えるようなボジション取りでした。常日頃から、担当地区の何処に水利があるかを良く把握していた事がこの時の円滑な消火活動につながったとも思っています。

文末に、消防団のみなさん、火災期特別警戒にご苦労さまです。



### 消防団ラッパ隊に入隊して

第二十四分団  
団員 桐生将勝

皆さんは「消防団ラッパ隊」をご存知ですか? 「消防音楽隊」とは違いますよ!! 実は私も消防団に入隊するまでは、あのラッパ隊は消防音楽隊だと思っていたんです。

「消防音楽隊」といえば、富士市消防本部内で組織されている消防職員による公設音楽隊。『消防団ラッパ隊』は、富士市消防団の各分団から選抜された団員で構成されている、消防団本部直系の部隊なんです。

さて、さかのぼる事私が小学生の頃消防出初式でラッパ隊が制服姿で颯爽と演奏しているのを始めて見て「カッコイイ!!」と思い、小学校のブラスバンドでトランペットを吹き始めました。(それがきっかけで、社会人になった今でも趣味でラッパを吹いているんです。)

あれから二十年后(?)の現在、私は3年前に地元の消防団に入団し活動していますが、今年になって分団長から「ラッパ隊をやってみないか?」とお誘いを頂き、入隊する事になりました。思えば私がラッパを吹き始めるきっかけになったあのラッパ隊に、まさか自分が入隊する事になるとは、幼いその当時は思いもしなかった事、なんか運命的なものを感じます!! (笑)

入隊初日から、隊長をはじめ隊員の皆さんに暖かく迎い入れていただきました。隊員の皆さんは、年齢も幅広く、楽しく和気あいあいと、そんな中にも規律正しく心地よい厳し

さの中で毎週木曜日の夜に集合して練習しています。(私の場合、自分の仕事との絡みもあり練習に毎回は参加できないのですが・・・)

その後、私をはじめラッパ隊員として公式の場でラッパを吹いたのが「富士まつり」での音楽パレードでした。大勢の見学者の前での演奏行進にとっても緊張しましたが、何よりも沿道からの多くの皆さんの拍手、声援が嬉しく、感動しながら無事初舞台を終える事が出来ました。又、ラッパ隊の姿に憧れていた幼い頃の自分を思い出し、ちょっと感慨にふけたりも・・・。

さて、ラッパ隊の活動の場は、これ以外にも「消防まつり」「出初式」その他公式消防行事などたくさんあります。これからも地元消防団活動と共に精一杯がんばりたいと思います。そして、子供たちが「僕もいつか消防団に入ってラッパ隊に!!」と思ってもらえる様な隊員でいたいと思います。

皆さん!! 消防団ラッパ隊の姿を見かけたら、今後もご声援宜しくお願いします。そして、あなたも是非、消防団に入団して一緒にラッパ隊で活躍してみませんか?



富士山に向かって

### 団員家族について

第十九分団  
団員 大代準一

私は消防団に入団して四年目になります。入団前は、出初式、消防まつり等の消防団活動は、私も家族もほとんど知りませんでした。また、同じ地区に住んでいる、十九分団団員とその御家族との交流も有りませんでした。今では、春に花見を兼ねた家族総出のバーベキュー大会や、夫婦参加の食事があつたり、家族ぐるみの付き合いをさせていただき、私も妻もとても喜んでおります。

私の家族には二歳と五歳のかわいい子供がおり、二人はいつも一緒に遊んだり喧嘩をして、家中とてもにぎやかな状態です。下の子は、私がかつて会社に行っても、消防団活動に出掛けたと思っているようです。

消防団の活動は、ボランティア的要素が強く、社会に貢献した活動です。このがんばっている父の姿を子供達に見せる事ができ、良い見本になればと思います。今後も家族に心配を掛けず、消防団活動に努めようと思います。

### 団員家族

第二十五分団  
家族 渡邊美和子

夫が消防団第二十五分団に入団して十数年、最初はどの様な活動をするか不安でした。火災発生で速やかに出動するのは勿論の事、主に一月の出初式に始まり、三月の春季火災

予防運動、九月の総合防災訓練、十一月の秋季火災予防運動、消防まつり、十二月の地域防災訓練、火災期特別警備などがあります。特別警備では消防詰所に泊まり込みの夜警で、消防車で夜廻りもします。遠くの方から消防車の鐘の音がすると、小学四年生の娘が「あつ、お父さんが来た。」と言って外に飛び出るので、それに連れられて母と私も外に出て、「御苦労様!!」と声を掛けます。

その他にも色々大変な活動があります。一番の思い出は、消防訓練大会の事であり、連日連夜の練習の甲斐あって、ホースを持ち、所定の位置まで走り、消防車にリズムよく乗り込み、テキパキと動く選手達を見ていて涙がでてきたのを覚えております。夫が消防団に入団していなければ、味わえなかった感動を沢山もらいました。

これからも私にできる事があれば、協力して行きたいと思っております。



楽しいひととき

**静岡県消防大会**  
(磐田市民文化会館)  
平成十三年十一月十日



平成十三年度静岡県消防大会(磐田市民文化会館)において富士市消防団長が消防功労表彰受賞。  
同会場、消防団員等意見発表会が開催され、富士支部代表(第二十分団長 佐野勝英)「我が分団の活動について」と題して発表された。



テーマ「我が分団の活動について」

# 消防団に入って

第七分団  
団員 江本政典

消防団と聞いてその活動のすべてを理解している人達はそれほど多くないと思います。私もそんな中の一人でした。今年入団して三年目になります。まだまだ初めて経験することばかりで、改めて消防団活動の多様性、重要性をおもい知らされました。

家庭においては留守が多くなり、家内への負担も多くなります。しかし、私達分団ではことあるごとに分団長をはじめ諸先輩方が「明日の消防まつりは家族そろって来いよ。」と声を掛けて頂き、暖かくもてなして下さいます。子供達も「今年の消防まつりでは七分団は何をやるの?」と楽しみにしています。つい、家族総出で先輩方の暖かい声に甘えてしまっています。

## 団本部・方面隊長・分団長 先進都市合同視察研修会 十一月六日～七日 福井地区消防本部・消防団を視察



防災センター 玄関ロビー前にて

団員同士も家族ぐるみで交流が行われ、気の合った者同士、スポーツ、バーベキュー、花火大会等で親睦を深め団結心を強くしています。子供達も同じくらいの年齢の子が多く、一緒に遊べる日を楽しみにしています。将来親と同じように原田地区を守る消防団員になるかなと思います。最近、団員数の減少、高齢化等少し寂しい話題が多いですが、楽しい一面もあるのでぜひ若い人に入団してほしいと思います。

私は出身が沼津ですが、よく人に「なんで消防団に入っているの?」と聞かれますが、見知らぬところに来たら消防団に入れば土地勘も増すし、顔見知りの人も増え、何より自分の住んでいる地区が好きになります。多くの人達に消防団活動をぜひ体験してほしいと思います。最後に、日頃から消防団に対する理解と協力をしてくれる家族に感謝して終わりにしたいと思います。ありがとうございます。そしてこれからもよろしく。

### ソフトボール 大会に思う

第十三分団  
班長 渡辺明夫

思い返せば、平成元年この大会で我々十三分団は、初優勝という快挙を成し遂げました。

当時、私は、入団したばかりで、団になかなか溶け込むことが出来なかつたが、一試合、一試合勝ち進む中で、チームの和の中に溶け込むことが出来たような気がします。

今回、諸先輩達が所用で参加できないということ、急遽、キャプテンの重責を任せられました。ソフトボールの経験が無いため、先輩達に相談しながら、打順や守備を決めました。結果は、一回戦で一点差の惜敗でありました。

入団十四年目を迎え、班長という重責を任されていますが、これからも諸先輩方の指導の元、団員とのパイプ役となり、消防団活動に従事していきたいと思っています。



試合を終えて

### 消防団親睦 ソフトボール大会

第十六分団  
班長 川口清美

初秋の肌寒い風が吹くも、これ以上ない晴天に恵まれ、まことにまつた? 大会の幕が切つて落された。我々は

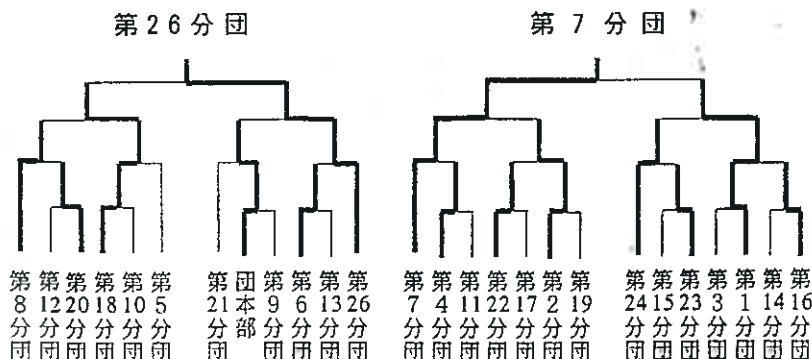
前回優勝チームという栄光を背負い、その重圧に負けじと十月に入つてからは、毎日の早朝練習で団員を鍛えぬき、ユニフォームも新調し(とは言つても五百円也のTシャツだが)、身も心も見た目も、心ひとつにして、筋肉痛、肩の痛みとも戦いながら、大会に臨んだのである。

目標は、当然「連続優勝」、しかしながら、我々の分団も高齢化が進み、気持ちに体がついてこない。主力の選手が四十代、五十代であり、若手と言つても、三十代が二人。第一試合は、幸運にも恵まれ大勝したのだが、既に体の張りはピークに来ていた。

第二試合は、ヘトヘトになりながらも、同点引き分け、ジャンケン負け、今年の大会は、終わったのであるが、ここで痛切に感じたのが、若手の団員不足である。私達の分団で今年の火災出動機会が八回あり、火消しとしての技術、経験のスリルは高いのだが、体力の衰えが気になりだしてきました。大会で勝っているチームを見ると、二十代、三十代が多い。うらやましい限りである。

こういう分団に、新入団員獲得のノウハウを教えて欲しいと思いつながら、今年の大会も無事終わったのである。

## 第26回 富士市消防団員ソフトボール大会結果



選手宣誓 「・・・第20分団 影山武彦」

### 消防団分団の配置図



## 知っていますか？

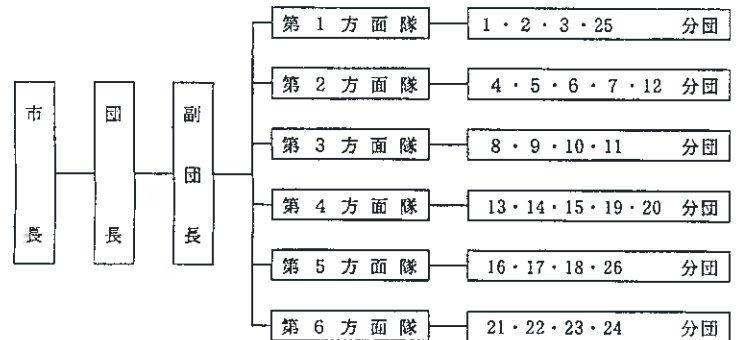
### =あなたの町の消防団=

\*富士市消防団はいくつの分団があるのですか？

A. 富士市内には26個分団があります。

←左の分団配置図を見て下さい。

#### 消防団組織



今度、消防団がどこにあるか歩いてみてはどうでしょうか

## 消防団員募集中

富士市消防団では消防団員を  
随時募集しています  
市内在住の十八歳以上で熱意のある  
健康な人なら入団できます  
入団方法  
地域の消防団員または地域の町内会  
(区)長へ申込んでください。



問い合わせ 消防本部管理課 TEL. 55-2852  
FAX. 53-4633

## 14年度消防団の主要行事予定

月 日	行 事
4月 1日(月)	辞令交付式
5月下旬日(日)	新入団員教育・庶務講習
6月中旬日	幹部研修
6月下旬日	機関員研修
8月上旬日	特別健康診断
9月 1日(日)	総合防災訓練
10月 13日(日)	団員ソフトボール大会
10月中旬日	行政視察
11月 9日(土)	静岡県消防大会(裾野市)
11月 10日(日)	消防まつり
11月9日～15日	秋季火災予防運動
12月 1日(日)	地域防災訓練
12月20日～	火災期特別警備(平成15年2月20日まで)
平成15年1月12日(日)	消防出初式
平成15年2月中旬日	家族協力推進懇談会
平成15年3月 1日 ～3月 7日	春季火災予防運動

## 編集後記

皆様から多数の原稿を頂き全て消防団だよりに掲載できました。広報委員一同心よりお礼申し上げます。消防団だよりが市民と消防団員を結ぶ掛け橋になればと期待します。

今回も地域のみならず、又消防団員にアピールを兼ねて年内行事及び、市内の消防団位置図を載せさせていただきました。『より身近に』『よりわかりやすく』をモットーに今後も方面隊の代表としてより消防団の活動を掲載できますよう努力してまいります。今後とも協力をお願い申し上げます。

### 富士市消防団広報誌編集委員

- 委員長 第四方面隊長 杉山 茂樹
- 副委員長 第二方面隊長 長尾 文彦
- 委員 第十二分団副団長 片平 保夫
- 委員 第一方面隊長 本多 正憲
- 委員 第三方面隊長 千葉 和夫
- 委員 第四方面隊長 船山 明宏
- 委員 第五方面隊長 松原 宏昌
- 委員 第六方面隊長
- 委員 第七分団部長
- 委員 第十三分団班長
- 委員 第十五分団班長
- 委員 第二十三分団班長